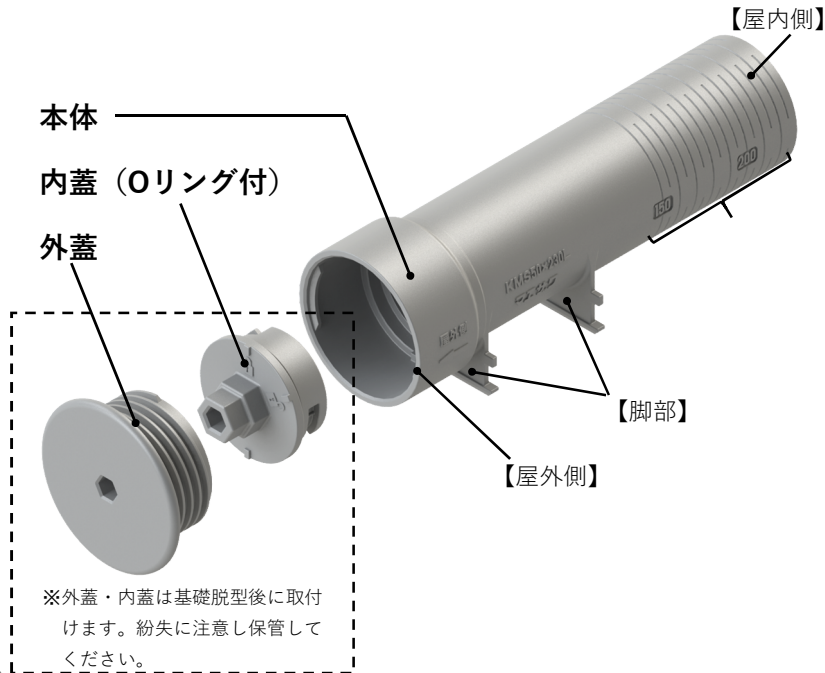


## 施工業者様向け

# 基礎アジャスト水抜管 KAM50×150-230L 施工要領書

この度は、基礎アジャスト水抜管をお買い上げいただきありがとうございます。  
 この施工要領書は、基礎アジャスト水抜管を正しく取り付けていただくためのものです。  
 施工前に必ずお読みくださるようお願い申し上げます。

### 部品・各部名称



### 設置場所



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 保管のご注意

- 製品に物を落下させる等強い衝撃を与えないでください。キズや破損の原因となります。
- 車中等の高温になるようなところに長時間保管しないでください。製品変形の原因となります。

### 設置場所のご注意

- 植栽の近く、エアコン室外機・エコキュート等の機器背面は浸入水の排水位置には適しませんので避けてください。
- 建物の意匠上目に付きにくいところに設置されるのが望ましいです。
- 通常時は蓋を閉めた状態にしてください。蓋を開けたままにしておくと雨水や虫などが入るおそれがあります。



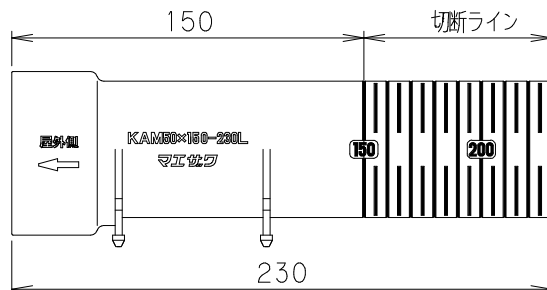
## 1. 準備

製品の設置に必要な工具類は以下のとおりです。

- ①ノコギリ
- ②養生テープ
- ③水準器
- ④カッター
- ⑤六角レンチ：二面幅10mm

## 2. 切断

切断ラインを目安に基礎の立ち上がり厚さと同じ長さになるようノコギリなどで本体を切断してください。切断ラインは5mm間隔で溝を設けております。



## 3. 養生テープ貼り

本体の屋外側・屋内側の両端を養生テープなどで封してください。



打設作業時に養生テープがはがれることがないように、しっかりと貼り付けてください。

養生テープがはがれると本体内部にコンクリートが侵入するおそれがあります。

## 4. 床スラブ打設

床スラブを打設してください。



※社内検証用に製作した基礎の写真を記載しております

## 5. 設置①

本体を配筋の下にくぐらせ、外型枠に押し当てながら下げ始めます。



**必ずコンクリートの硬化前に設置をしてください。硬化後に設置すると本体とコンクリートに隙間ができ雨水が浸入するおそれがあります。**



本体を外型枠に押し当てながら下げることで設置後の本体と外型枠の隙間を小さくすることができます。隙間が大きいと本体の内部にコンクリートのノロが浸入するおそれがあります。

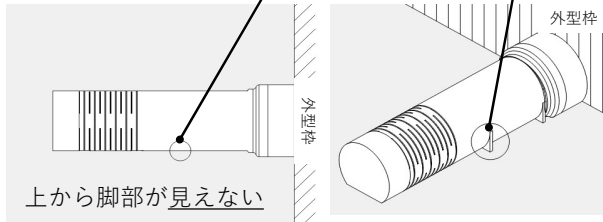


## 6.設置②

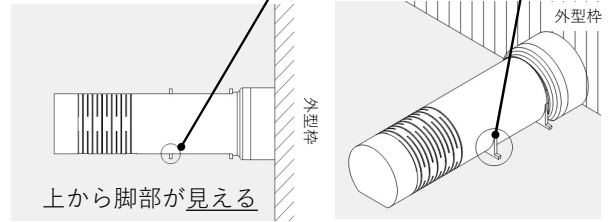
上から見て、脚部が見えなくなる深さまで床スラブ（コンクリート）に本体を埋め込んでください。



正しい例



誤った例



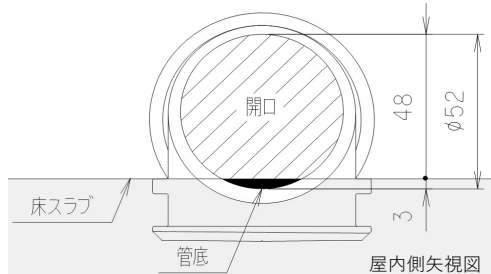
注意

脚部が見えなくなる深さまで埋め込むと床スラブから3mm低い位置が管底となります。埋め込みが浅いと床スラブより管底が高くなり排水を阻害する段差ができてしまいます。



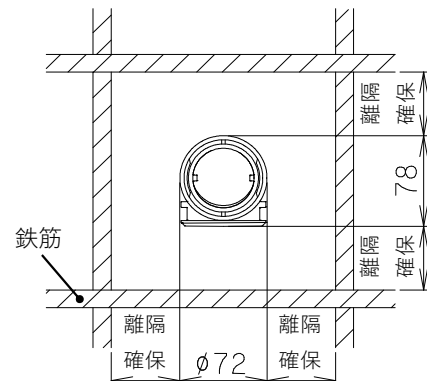
注意

床スラブへの埋め込み深さの上限は有りません。但し、埋め込みが深いと屋内側の開口が狭くなり浸入水の排水にかかる時間が長くなります。



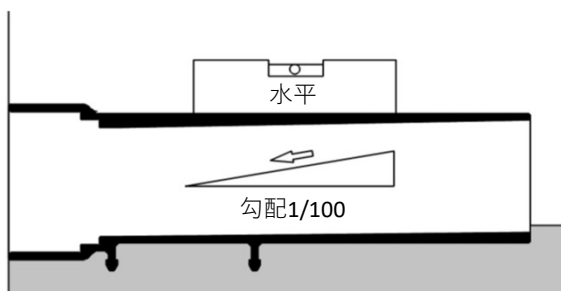
注意

鉄筋から必要な離隔（かぶり厚）を確保できる位置に施工を行ってください。配筋を切断する場合は、適切な補強筋を追加してください。



注意

水平に設置すると管路内の勾配が1/100になります。設置後に、水平に設置されていることを水準器で確認してください。



## 7.立上り打設～脱型

内型枠設置後、立上がり基礎を打設しコンクリート硬化後、脱型してください。

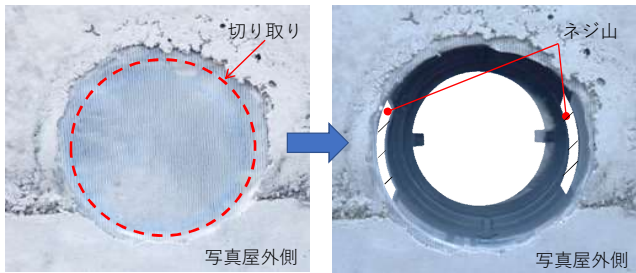


打設

脱型後

## 8.養生テープはがし

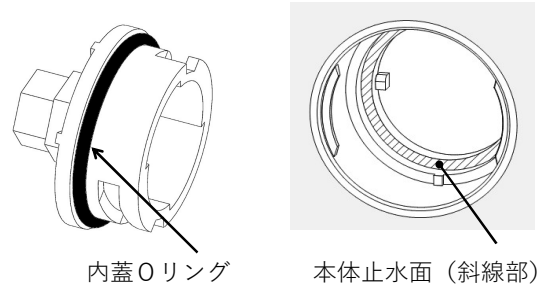
屋外側と屋内側の養生テープを本体内部に沿ってカッターで切り取り除去してください。



屋外側の本体内部の手前にはネジ山があるので、養生テープを切り取る際にカッターで傷を付けないよう注意をお願いします。



## 9.内蓋取付前の確認

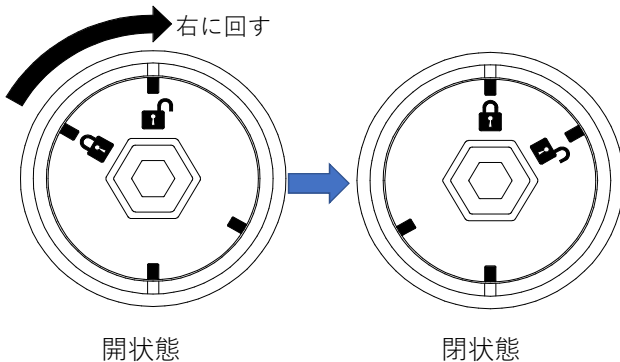
「内蓋Oリング」「本体止水面」にノロ・土・ホコリが付着していないかを確認し、付着していた場合は取り除いてください。



ノロ・土・ホコリが付着した状態で内蓋を取付けてしまうと雨水が侵入するおそれがあります。

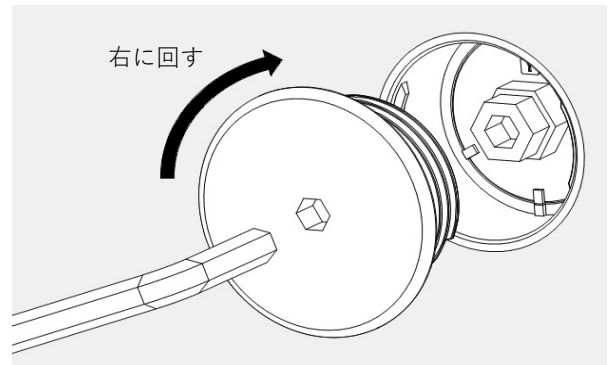
## 10.内蓋取付

「」マークを上に向け内蓋を取付けた後、六角レンチで「」マークが上を向くまで右に回してください。



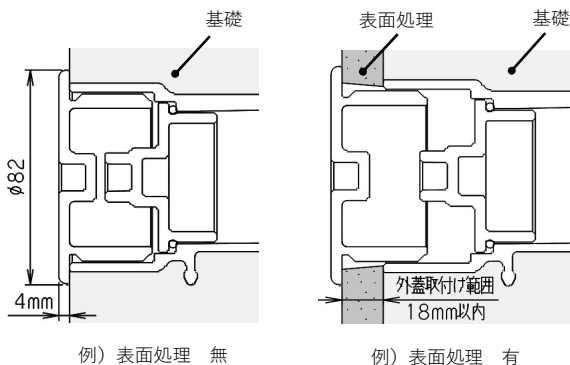
## 11.外蓋取付

ネジ山を合わせ、外蓋を六角レンチで右に回して締めてください。過度な締付は不要です。



## 基礎の表面処理を行う際のご注意

外蓋は本体端部から18mm離れた範囲まで取付けが可能です。これにより、基礎表面の「凹凸補修」「塗装」を行っても外蓋が基礎に埋まることなく、意匠が損なわれることはありません。



表面処理厚さを本体端部より18mm以上とした場合、外蓋の取付けが行えなくなります。



基礎の表面処理は外蓋を取り外して行ってください。外蓋が基礎に貼り付き取り外せなくなるおそれがあります。



外蓋はPVC製となっており、有機溶剤（アセトン・シンナー等）に接触すると材質的に侵され軟化や亀裂が発生するおそれがあります。

外蓋に基礎表面と同じ塗装を行う場合は、塗料メーカーに問題がないことをご確認をお願いします。



お問い合わせ  
当社ホームページより最新の営業所一覧がご覧いただけます。  
<http://www.maezawa-k.co.jp/>